

2023年11月22日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

沖縄振興開発金融公庫（証券コード：－）

【維持】

発行体格付：AA+ [安定的]

債券格付：AA+

【格付理由】

沖縄振興開発金融公庫（沖縄公庫）は沖縄における政策金融を一手に引き受ける総合政策金融機関。民間投資を金融面からサポートする政策金融は、国による財政面での支援措置とともに、民間主導の自立型経済の構築・発展に貢献している。国との一体性は強く、格付は政府同格としている。

政策金融改革により日本政策金融公庫（発行体格付=AA+）と統合することが決まっているが、2022年の法改正で統合時期が2032年以降に延期となっている。沖縄固有の社会経済事情に則した独自の出・融資制度を整え、小規模事業者向け小口資金から大型開発プロジェクトに至るまで多種多様な資金ニーズに対応する沖縄公庫の政策上の重要性は極めて高い。コロナ危機時には政策金融機能を総動員し、経済を下支えした。

観光需要の高まりなどを背景に地域経済は上向いているが、コロナ下で中小事業者が受けた打撃は小さくなく、貸出資産の質の動向には注意が必要だ。もっとも利益金が生じた場合には国庫納付する半面、損失金が生じる場合には、予算措置により補給金を受け入れることになっており、期間損益の均衡が図られている。良好な財務基盤が崩れる懸念は小さいとみている。

【格付対象】

発行者：沖縄振興開発金融公庫

【維持】

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	AA+		安定的	
名称	発行額	発行日	償還日	格付
第6回沖縄振興開発金融公庫債券	100億円	2005年7月22日	2025年6月20日	AA+
第20回沖縄振興開発金融公庫債券	100億円	2014年6月19日	2024年6月20日	AA+
第21回沖縄振興開発金融公庫債券	100億円	2015年6月18日	2025年6月20日	AA+
第23回沖縄振興開発金融公庫債券	100億円	2016年6月17日	2026年6月19日	AA+
第24回沖縄振興開発金融公庫債券	100億円	2017年6月16日	2024年6月20日	AA+
第25回沖縄振興開発金融公庫債券	100億円	2017年6月16日	2027年6月18日	AA+
第26回沖縄振興開発金融公庫債券	150億円	2018年6月15日	2028年6月20日	AA+
第27回沖縄振興開発金融公庫債券	150億円	2018年12月14日	2023年12月20日	AA+
第28回沖縄振興開発金融公庫債券	100億円	2019年6月13日	2029年6月20日	AA+
第29回沖縄振興開発金融公庫債券	100億円	2020年12月14日	2030年12月20日	AA+
第30回沖縄振興開発金融公庫債券(サステナビリティ ボンド)	100億円	2021年12月17日	2031年12月19日	AA+
第31回沖縄振興開発金融公庫債券(サステナビリティ ボンド)	100億円	2022年12月16日	2032年12月20日	AA+

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債権についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

格付関係者	沖縄振興開発金融公庫
主任格付アナリスト	守屋 敦
信用格付を付与した日	2023年11月22日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2022/12/26]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイト上に上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について 代表して責任を有する者	丸山 博哉
信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

©Rating and Investment Information, Inc.